

八雲藍の  
教育的指導

ADULT ONLY





あの大きくて  
立派な尻尾……  
いち、にい、さん……



コソコソ

……9本ある！  
やっぱりのあの人が  
八雲藍さま  
だったんだ！



毎度お〜!!



……やっぱ  
無理かな？

追いかけて  
お願い  
してみようかな……

なんか優しそうだし、  
ちゃんとお願ひしたら  
尻尾モフモフさせて  
もらえないかな……

モワ

油揚げ好きの  
ただの妖怪狐の  
おねえさんだと  
思ってた……

モワ





つてか...  
ここどこだろ?  
追うのに夢中だったから  
帰り道がわからないぞ...

見失っちゃった...

あれ...?  
あれ...?

キヨ回

キヨ回



歴史の授業で  
最強の式神だって  
教わりました...!

ふむ...

その勉強少年が  
何用で私の後を  
つけて来たのだ?

そ...それは...  
その...



動くな!  
私の後を  
つけてくるとは...  
何者だ?

あ...  
あ...!

や、八雲藍さま  
ですか...!?



ほう...  
私を知って  
いるのか?

ヒキ  
ヒキ





ら、藍さまの  
その立派な尻尾を  
モフモフさせて  
ください…!



この尻尾の良さが  
判るとは、なかなか  
見処があるな

お願い  
します!

だが  
若さゆえか…  
残念だ…

坊やは  
妖怪を舐め過ぎて  
いるわね…

え…?

### 式神「仙狐思念」



人里から出たら  
妖怪に喰われても  
文句は言えんぞ!!



藍  
なにを  
遊んでるの？

ガッパッパッ



藍

これくらい  
派手に化かせば  
流石に懲りるだろう

スマンな…



勝手について来られて  
本当に喰われでもしたら  
寝覚めが悪いしな…

※外見は幻覚です。

グルルル



ポコポコ

まあいいわ…  
頼んでおいた事  
やってくれた？

はい！  
それはもう  
バツチリ！



ヒョコッ

呼ばれたら  
返事くらい  
しなさいな

あ、ハイ！  
すみません！

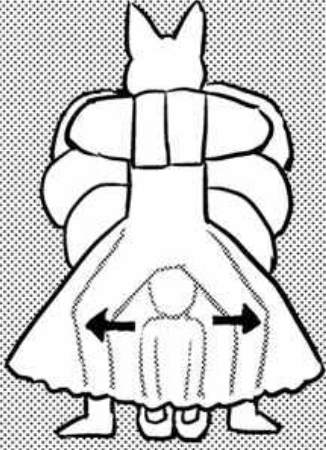


バツチリ  
拙い状態だ…

咄嗟の事に  
思わず坊やを  
匿ったが良いが…

ドキ  
ドキ  
ドキ  
ドキ

慌ててスペース  
作ろうとガニ股に  
なった後…



裾から坊やが  
見えない様にと  
前傾になった  
せいで…

まぎゅっ…

坊やが  
大変な事に…!!

紫様の目の前で  
何をしてるのだ  
私は…!

やってくれたなら  
いいけど…

私はまた  
暫く寝るから…  
引き続きよろしくね

ハイ!  
お任せを!

気付かれ  
なかったかな…



うう…なんだか  
猛烈に情けない所を  
見られてしまった…

モゾ  
モゾ…



それと…

つまみ喰いも  
程々にね

ですよねー

しっかりと  
バレてた…!!

ぷぷ

ぷぷ



か、顔を  
突っ込んだまま  
喋るんじゃない…!



ど、ドンマイです  
お、おんあいえふ  
らんさま…!  
あんはま…!

ピクッ

あわ  
あわ





なんで笑ってるのよ！  
私の変化、怖く  
なかったの？

てへへ…

きゅん

きゅん



怖くて目を  
閉じてたけど

目を開けたら  
藍さまのおしりが  
目の前にあって  
天国だったから…♡

はあ…

おきれた…

一人で妖怪の後を  
つけてくるだけあって  
たいしたタマね、坊や…



お尻、柔らかくて  
いい匂いでした♡

くる

くる

くる

そ…そう？  
ありがとう…？

って、違う！  
誤魔化すな！

主の前で恥を  
かかされた落とし前、  
どうつけてくれる？

たっ

きゅん





ニヤニヤ

ん？  
いまなにを  
隠したのかなあ？



！

ささ

それにしても…  
妖怪を前にして  
ずっと余裕っぽいのが  
ムカつく坊やねえ

ホントに喰って  
やろうかしら？



むん

ぐぐ…



あちこちに落ちてた  
工口い本をみんなて  
集めて勉強しました

独学とは  
恐れいった…



ドキン  
ドキン

おやおや…♡  
いっちょよまえに  
おつきくして…♡

人の尻見て  
興奮するわ、  
胸が当たって  
勃起はするわ…

最近の寺小屋では  
劣情の催し方まで  
教えてるのかい？

ドク



まったく…  
そんな変態坊やには  
少しキツめの教育を  
してやろうか…！



どうやら  
性的な意味で  
喰われたいとみえる



これに  
懲りたら…

なんでも  
度が過ぎたら  
苦しいでしょう？



ほおら♡  
いつまで余裕で  
いられるかな？



むぐぐ…





なんで更に  
バッキバキに  
なってるのよ!?

ひあわせです  
ああへへふ♡



これは予想以上の  
ド助兵衛だわ…

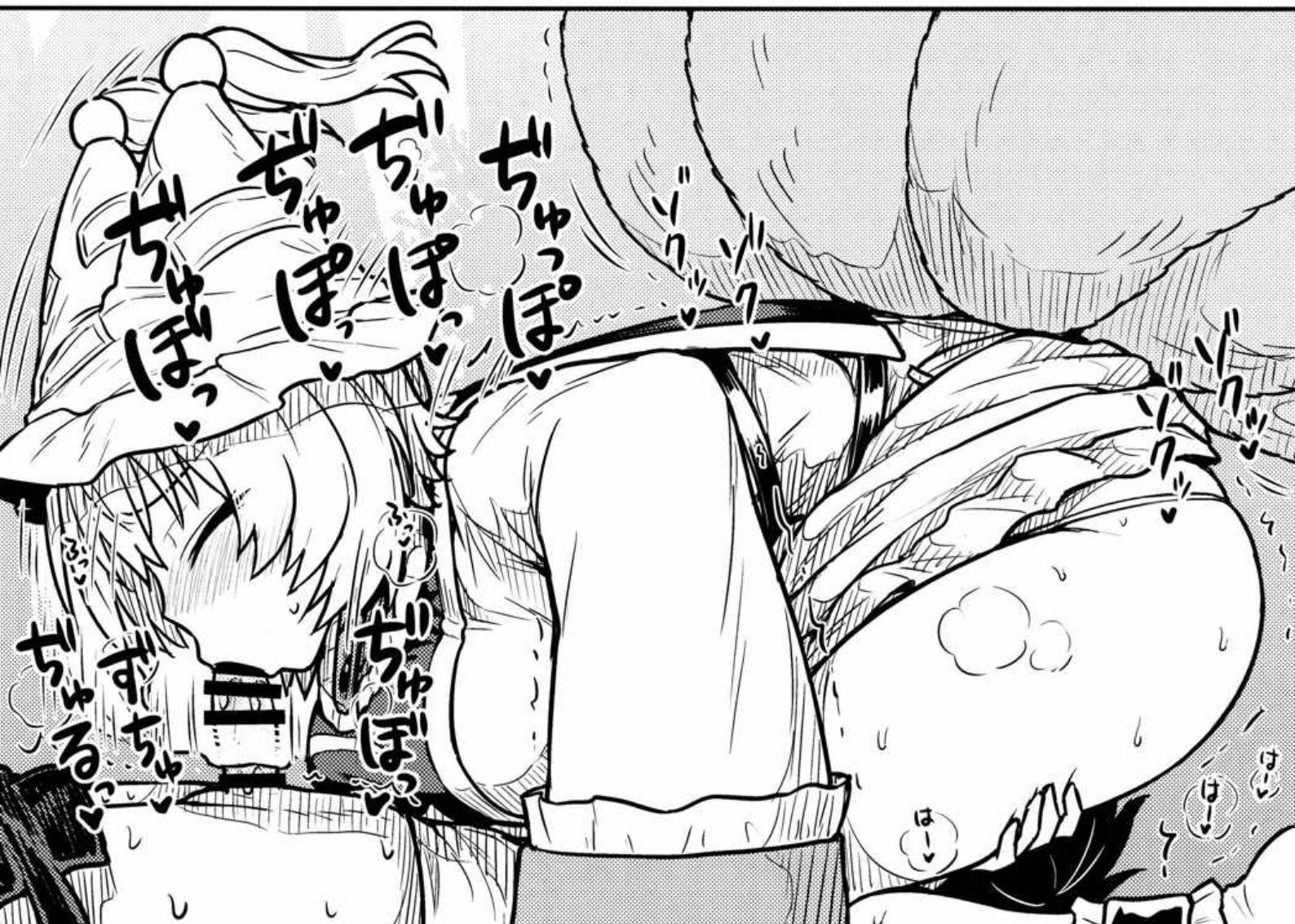


まったく…  
こんなにして…♡



この据え膳を  
つままないのは  
狐としての沽券に  
関わるわね♡

れろ…♡













ひ…一人ですると  
ぜんぜんちがって…  
きもちよすぎた…♥

しあわせ…♥

まだ余裕  
あるようね♥



狐につままれた  
気分はどうだい？

ふー…♥



ぬき



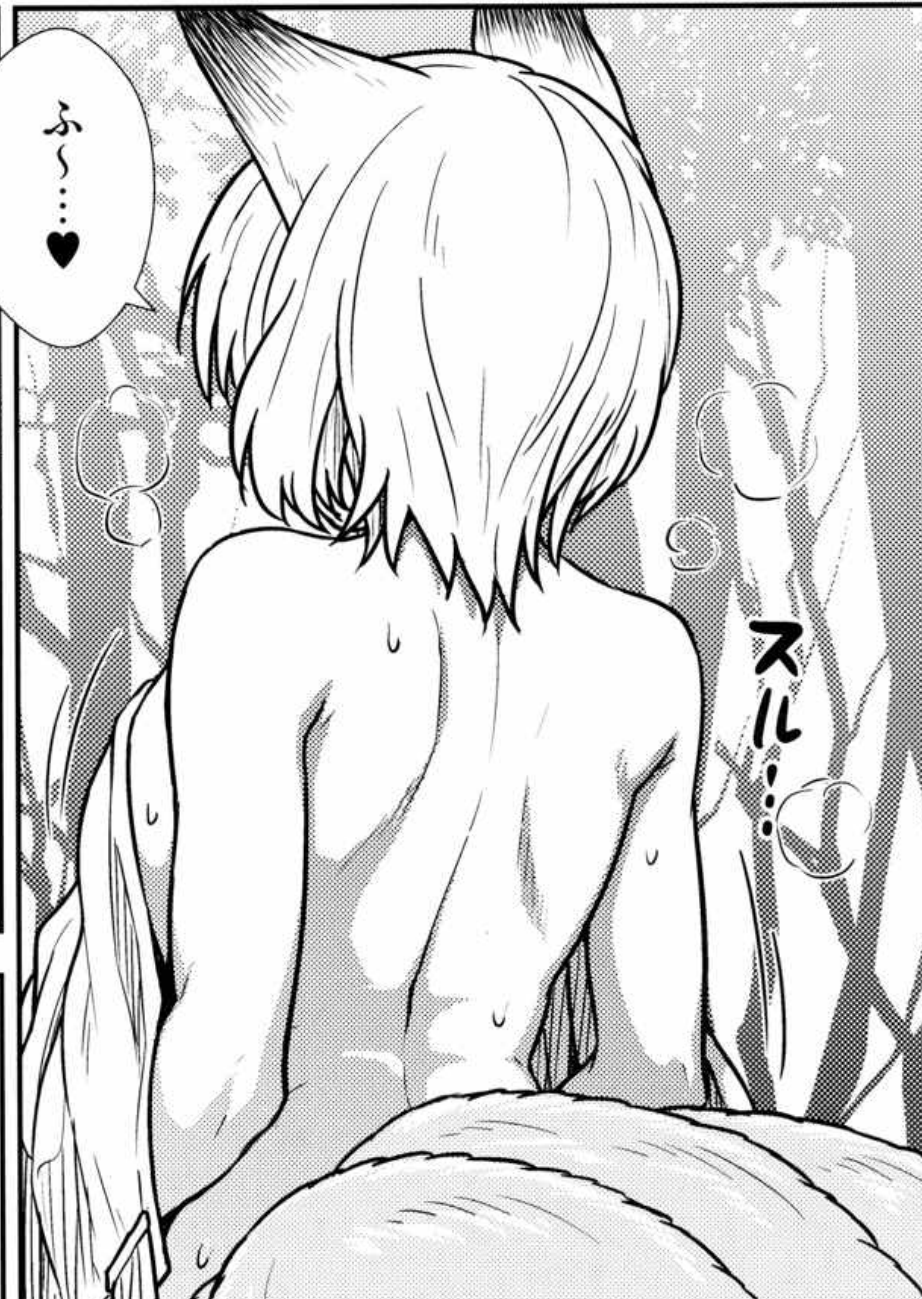
私も今ので  
スイツチが入って  
限界な訳だが…

さて、と…

もちろん、坊やも  
メインディッシュまで  
味わっていくんだらう？



パチッ











やはりコレはコレで人の血肉とは違った良さがあるねえ…♡

さあさあ♡まだイけるだろう？

特別に尻尾のベッドにも乗せてやろうか？

!?

乗りたい…!!

モフッ

パロ♡

それじゃあ次は坊やに動いてもらおうかな♡

ど…どうすれば…

大丈夫♡ちやんと私が指導してあげる♡

くばあ♡







ああ...  
ホント...♡

これは癖に  
なりそうな良さだ...♡

本当は  
ここから

『両足抱え上げて  
のしかりつつ  
乱暴に種付け』

までイケたら  
満点なんだけど、  
坊やの体格じゃあ  
無理だろうな

ぬっ  
ぬっ  
ぬっ  
ぬっ  
ぬっ



こ...  
こうですか!!  
がんばります!!

えっ!?!  
ちよ、ちよっと!?



ら…  
藍さまを…っ  
乱暴に…っ

このっ  
このっ  
このっ



ずっずっ  
ほっほっ  
ずっずっ  
ほっほっ



ちよ…  
ちよ…  
ちよ…  
待っ…

あっ…  
あっ…  
あっ…  
だだめっ





坊や良い子だ  
ねんねしな  
だな...♡

おっと...

いやあ...♡  
坊やの事を  
甘くみてたよ...♡



気が付くと  
人里に入って  
すぐの所に居た

きつと  
藍さまが送って  
くれたのだろう…

急に、昔読んだ本で  
こういう別れ方した話は  
二度と会えなかったな…  
というのを思い出した

—後日



おや、坊やも  
お使いかい？

感心感心

そのうち、  
また狐がつまんで  
やろうかい？

別に  
そんな事は  
なかった





描いてました。

ついちゃった、とかそな相じしながら

右手でイジるくせが

困りながら

少し

此系様に無茶言われた時とか

くせっ毛部ハカは

奥付

あとがき

発行日:2016年08月13日 (C90)  
発行 :110-GROOVE  
著者 :イトウゆーじ  
原作 :上海アリス幻楽団 東方Project

URL:<http://www.r20.7-dj.com/~ug110/>  
twitter:ug\_110 pixiv:14192

印刷 : みかんの樹 様

この本は東方プロジェクトの二次創作です。  
18歳未満の方の購入、閲覧は禁止です。  
無断転載、アップロードなども禁止です。

思い切って液タブ(13HD)を購入しまして  
今回の夏の原稿から使ってみております。  
板タブの頃より肩こりがひどくなったので  
姿勢の見直しが必要だと思いました。

日記かよ。

110-GROOVE